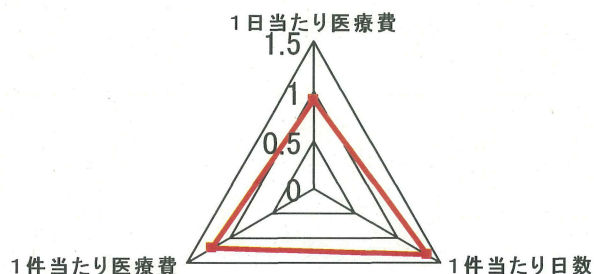


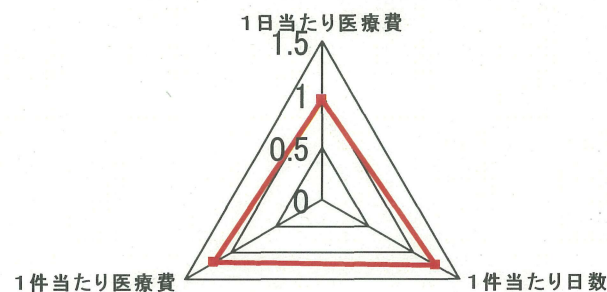
# 医科入院外の主な疾病の諸率

- グラフは、国民健康保険を1とした場合の生活保護の水準を計算したもの。
- いずれの疾病も、1件当たり日数の長いことが、1件当たり医療費を引き上げていることがわかる。

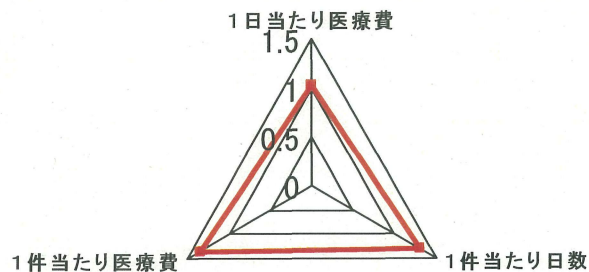
循環系の疾患



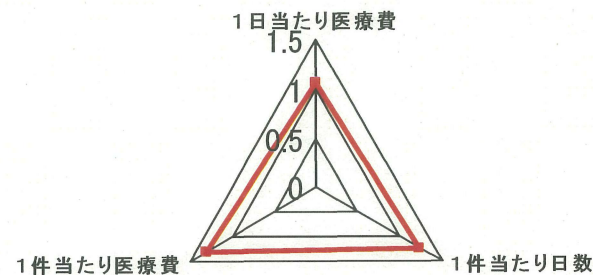
筋骨格系・結合組織の疾患



内分泌栄養代謝免疫障害のうち糖尿病



尿路性器系の疾患



## 循環器系の疾患についての比較

- 国保と比較して、相対的に件数割合が小さいのは高血圧性疾患。逆に、相対的に生活保護の件数割合が大きいのは脳梗塞。
- 診療行為別の点数では、在宅の点数割合が相対的に高い。

循環器系の疾患における疾病ごとの件数割合

	生活保護 ①	国保②	①－②
高血圧性疾患	57.6%	67.1%	▲9.6%
脳梗塞	13.2%	10.1%	3.0%

主な診療行為別点数の点数割合

	生活保護①	国保②	①－②
指導	14.0%	18.6%	▲4.6%
在宅	9.4%	5.6%	3.8%
投薬	28.5%	34.6%	▲6.1%

## 内分泌栄養代謝免疫障害についての比較

- 生活保護、国保とも、糖尿病の件数割合が半数を超える。
- 診療行為別の点数割合では、生活保護の処置の点数割合が相対的に高いといえる。糖尿病から透析治療が必要となった患者がいるということか？

内分泌栄養代謝免疫障害における  
糖尿病の件数割合

	生活保護 ①	国保②	①－②
糖尿病	73.3%	57.4%	15.9%

主な診療行為別点数の点数割合

	生活保護①	国保②	①－②
在宅	17.4%	12.4%	5.0%
投薬	20.1%	27.3%	▲7.2%
処置	12.0%	1.9%	10.1%

## 尿路性器系の疾患についての比較

- 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患が悪化して、人工透析が必要となる状態になる方もいる。腎不全の方は、人工透析が必要となる。
- 人工透析(1日1,960点)は、診療行為では、処置として分類される。

尿路性器系の疾患における疾病ごとの件数割合

	生活保護 ①	国保②	①-②
糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	7.8%	4.7%	3.1%
腎不全	27.7%	19.5%	8.1%

主な診療行為別点数の点数割合

	生活保護①	国保②	①-②
在宅	2.0%	4.4%	▲2.4%
処置	73.1%	68.1%	5.0%

腎不全の診療諸率

	生活保護①	国保②	①/②
1日当たり医療費	30,493円	31,541円	0.97
1件当たり日数	9.6日	9.8日	0.98